

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 内灘町立向粟崎小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒920-0275

石川県河北郡内灘町字向粟崎2丁目382番地

E-mail mukai-es@educet04.plala.or.jp

Website

幼児児童生徒数 男子 136 名 女子 124 名 合計 260 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳 ~ 12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月 (見込み)

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 1 年間の主な活動内容について記載願います。

○主に 5 年生による環境教育と全校の環境保全活動をしました。

期 日	具体的環境保全活動の内容
平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童、職員による使用済み用紙の裏面の利用 ・ 児童、職員による給食の残菜の削減 ・ 児童、職員による資源回収に出せる紙とそれ以外のゴミを分け、ゴミ排出量の削減及び毎日のゴミの排出量の計測 ・ 児童による各教室からの資源回収に出せる紙の回収
平成 29 年 4 月 ~ 7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 年生による環境についての学習 (河北潟の現状とこれからできることなど)
平成 29 年 5 月 ~ 平成 30 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員による使用済み封筒の再利用 ・ 児童、職員による雨水タンクを利用した学級園の野菜や花の栽培 ・ 校舎の外にある堆肥ボックスの活用

平成29年11月 平成29年5月～ 7月 平成29年6月～ 9月 平成30年 12月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ委員会の掲示による啓発活動（エコチェックの結果や取り組みの活動紹介、環境保全に関するニュースやクイズ）や学校だよりの保護者に向けたエコ活動の掲載 ・PTA古着回収 ・児童、職員によるグリーンカーテンの設置 ・全校集会でのエコ活動の紹介 ・クールビズの実施 ・職員によるウォームビズの実施・空調の適温化
---	--

(2) 活動の詳細

① 活動内容

○主に5年生による環境教育と全校の環境保全活動をしました。

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

・金沢市、内灘町の河北潟に関する環境パンフレット。

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- ・ 5年生の総合的な時間の教育課程（指導計画）の中に、「河北潟を探ろう」というテーマで、河北潟の自然とふれあい、そこに棲む生物や、水質浄化などの環境について学習し追究していく計画が明記されている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- ・ 5年生の総合的な時間の学習や、エコ委員会による啓発活動（エコチェックの結果や取り組みの活動紹介、環境保全に関するニュースやクイズ）を行うとともに、グリーンカーテン作りを毎年恒例のものとして定着させる。
- ・ 日々の学校生活の中で、「紙エコ」「水エコ」「電気エコ」を常に意識して取り組み、家庭でも取り組んでいけるよう啓発している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

- ・ 昨年まで、保護者アンケートに「子どもは家庭内でもエコ（節電・節水）に進んで取り組んでいるか」という項目が設けられ、よくあてはまる・概ねあてはまるで60%程度で、家庭でのエコの定着は十分に達成されていない。今年度は、日々の実践に重きをおき、取り組んでいる。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

- ・ 町内の学校で、同じエコ活動を行っているため、グリーンカーテン作りやエコの活動について情報交換をおこない、連作による失敗を減らし、より効果的で継続的な活動ができるよう取り組んでいる。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
（200字程度）

※チェック事項2-3に対応

・学校以外の団体との協働・交流等はありません。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項2-4に対応

・国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成は行っていません。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項2-5に対応

・教員や児童の中に、エコの意識が定着し始めている。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

・児童、職員による使用済み用紙の裏面の利用
・児童、職員による給食の残菜の削減
・児童、職員による資源回収に出せる紙とそれ以外のゴミを分け、ゴミ排出量の削減及び毎日のゴミの排出量の計測
・児童による各教室からの資源回収に出せる紙の回収
・5年生による環境についての学習
（河北潟の現状とこれからできることなど）
・職員による使用済み封筒の再利用
・児童、職員による雨水タンクを利用した学級園の野菜や花の栽培
・校舎の外にある堆肥ボックスの活用
・PTA古着回収
・児童、職員によるグリーンカーテンの設置
・全校集会でのエコ活動の紹介 など